

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 札幌のぼりべつ交流プラザ
-------------------	---------------------------

区分	番号	名 称						
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち						
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる						
施策	3	活力ある地場産業の育成						
小分類	1	新たな事業展開の促進						
主要な施策	3	販路開拓への支援						
事務事業番号	002	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f28b82;">事務事業コード</td> <td>31313002</td> <td style="background-color: #f28b82;">事業開始年度</td> <td>平成 8 年度</td> <td style="background-color: #f28b82;">事業終了年度</td> <td>平成 - 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	31313002	事業開始年度	平成 8 年度	事業終了年度	平成 - 年度
事務事業コード	31313002	事業開始年度	平成 8 年度	事業終了年度	平成 - 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	札幌のぼりべつ交流プラザ開催経費
------	------	------------	------------------

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>札幌圏に在住する登別市出身の方やゆかりのある方々と登別市の経済関係者が、情報交換や人脈づくりにより市内経済の活性化を目的に実施する。</p>
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <p>札幌のぼりべつ会と登別市の共催により実施している。 例年、基調講演ののち、登別市からの情報提供を行い、名刺交換や懇親を深めるための交流会を実施している。</p>
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>成果の表し方が難しい事業であるが、交流プラザによる市内関係者との人脈づくり等のほか、札幌のぼりべつ会の皆様からの様々なアドバイスをいただくなど、平成 2 0 年度より実施している登別ブランド推進事業の成果にも大きく寄与している。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	交流プラザにおける情報交換 テーマ設定件数	件	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	1				
	交流プラザ参加者数	人	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	33				

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	71	71	71	71	71	213
合 計			71	71	71	71	71	213
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	398	409			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		398	409			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 札幌のぼりべつ会と市内企業とのネットワークを構築し、札幌圏との経済交流拡大を図ることが出来るため、市が実施することは妥当と考える。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 市内事業者等と札幌のぼりべつ会の会員の人脈づくりが促進され、販路拡大等への足がかりとなっている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 札幌のぼりべつ会の人脈を生かし、札幌圏の企業や経済界の方々と市内企業との直接交流が図られれば向上する可能性はある。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 札幌のぼりべつ会の運営は、会費などより自主運営しているが、本事業を開催するための連絡調整や会場費等の経費を要するため、削減することはできない。

担当グループによる評価

維 持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	情報交換会・交流会等において、相互交流が図られている。今後も、交流による人脈形成が図られことにより、地場産品等の販路拡大や市内経済の活性化に波及することが期待されるため、事業の継続が望ましい。
------------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維 持	備考
------------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）